



CD&DVD を使いこなそう

Compact Disk & Digital Versatile Disk

■記録メディアとしてのCD, DVDの応用

DVD、CDにしておけば、活用の幅がグンと広がる

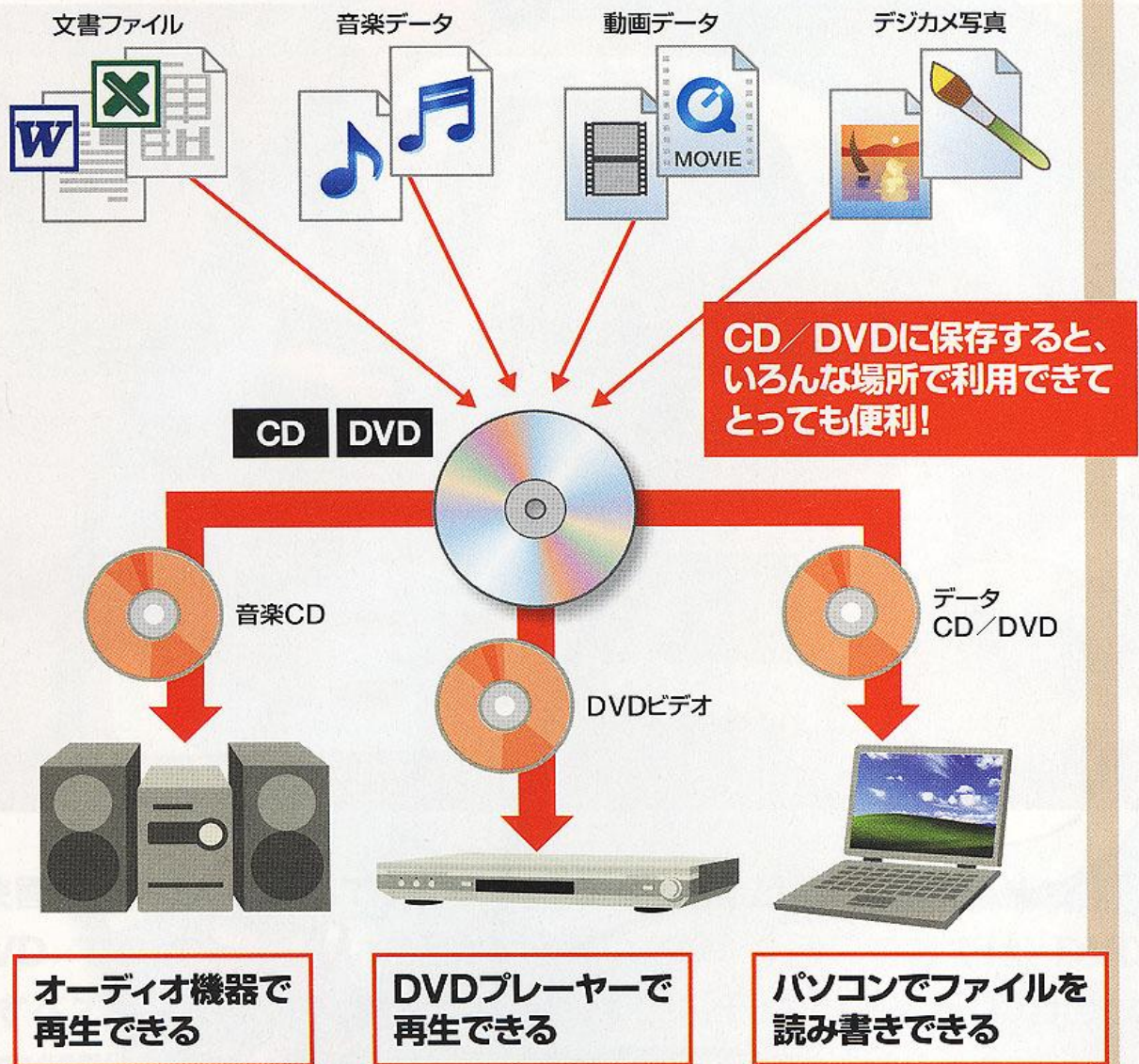


図1 数ある記録メディアの中でも、データの受け渡しや音楽、映像の保存に最適なのは「DVD」「CD」だ。音楽や映像をDVD/CDに保存しておけば、パソコンだけでなく、家庭内のオーディオ機器やDVDプレーヤーなどで楽しめる。いろんな場所で利用できてとっても便利だ

■CDとDVDの種類と選び方

光ディスクはCD、DVD、BDの3系列、迷ったら「DVD-R」にすれば間違いなし

1980年代	1990年代	2000年代
CD	DVD	ブルーレイ
		
容量 650M~700MB 価格 1枚70~90円	容量 4.7G~8.5GB 価格 1枚70~100円	容量 25G~50GB 価格 1枚400~600円
誰でも読める! 音楽ならコレ	一番お買い得、映像ならコレ!	まだ高いが、容量が大きい!

●記録型DVDディスクは5種類ある、基本は「DVD-R」

DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
				

●記録型CDは2種類

CD-R	CD-RW
	

写真画質DVD-R

4.7GB データ用 1-16倍速

Point 1 容量で「1層」か「2層」かを選ぶ

Point 2 速度は「1-16倍」にしておけばOK

Point 3 用途は「データ用」を選ぶ

SONY 700MBタイプ

700MBタイプを選ぼう

安価なCD-RでOK!

図1 光ディスクは大きく、CD、DVD、ブルーレイ (BD) の3系列がある。見た目は同じだが容量は異なる。さらに各系列の中で、書き換え可能かどうかなどの違いがある。DVD系列なら「DVD-R」、CD系列なら「CD-R」が最も広く利用されている [注2]

■ディスクを読み書きするためのドライブを調べよう。

パソコンに装備されているドライブをまづ知らなければならない。詳細は次ページを参照

ここ数年のPCならDVDはみんな扱える



ドライブに付いたロゴで、扱えるディスクがわかる。ロゴがない機種や隠れている場合は、カタログなどで確認する



最近のパソコンは、5種類のDVDすべてに対応した「スーパーマルチ」を搭載している。図7のように「DVDマルチ」と「DVD+RW」のロゴが両方付いたものもスーパーマルチだ[注5]。ブルーレイドライブは、DVDスーパーマルチの機能を含む

ドライブの種類には左図のように6種類がある。それを確かめるには、ドライブに表示されているロゴマークを調べる。

ロゴマークの表示がない場合には取り扱い説明書やカタログで調べる。

またはフリーソフト NeroInfotool をダウンロードして調べる方法がある

古いパソコンの場合は

Disc みのロゴマークの場合はCDのデータを読むことは出来るが書き込みは出来ないのでUSBに接続できる外付けのドライブを購入しなければならない。

最近のパソコンなら『スーパーマルチ』対応になっている。

Blu-ray に対応したドライブを装備しているパソコンはないので必要な場合はUSB接続の外付けドライブを購入しよう。

読み込みだけなら1万円程度。

読み書きのできるものなら2万円程度の投資が必要である。

■データDVD/CDを Windows で直接書き込むには

	CDへの書き込み	DVDへの書き込み	Blu-ray への書き込み
Windows XP	○	書き込みソフト必要	書き込みソフト必要
Windows VISTA	○	○	○

- ・音楽CDなら Windows Media Player 11で書き込み編集が出来る
- ・DVD/CDのコピーには専用のソフトが必要
XPならフリーソフト **CDBURNER XP** をインターネットからダウンロードする。
VISTA には標準で装備されている。
- ・書き込みには三つの方法がある。
 - ① 追記書き込み ファイルを何回かに分けて書き込みが出来る
 - ② 一括書き込み ファイルを一回でまとめて書き込み追記が出来ない
 - ③ パケットライト ドラッグ操作でファイルを書き込むことが出来る。

以上